

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	スマイルひろば匠臥電店		
○保護者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	29	(回答者数) 22
○従業者評価実施期間	2026年 2月 1日		2026年 2月 28日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7	(回答者数) 7
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 3月 12日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	様々な活動に参加することで集団でのルールや社会性を身につけ、得意を伸ばす支援を受けることが出来る。	散歩、簡単なおやつ作り、運動、製作、アート活動など日によって活動内容が変わるので、それぞれが選んで得意なことを伸ばしていけるように支援している。	ステップアップしていけるような活動内容の考案。
2	希望によって個別での支援も行っている	微細運動や粗大運動、協調運動を行ったり、SSTなど今後の生活に必要なトレーニングを受けることが出来る。	それぞれの児童の目的に合わせたより専門的なプログラムの作成、実施。
3	親子での交流会の機会がある	今年初めての取り組みで親子での交流会を行った。普段の支援の様子をまとめたものを見てもらったり、実際に体験してもらうことが出来た。	回数や内容を検討し、楽しく参加できる機会を増やしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	支援プログラムについての内容の説明が不十分	支援プログラムについて話し合ったり、確認する機会がない。	・利用開始時に支援プログラムを見もらえるように配布したり、個別計画との項目のすり合わせを行う ・保護者が支援内容を正しく理解することで、家庭での取り組みにも活かしていけるようにする。
2	設備や安全管理、マニュアル等の内容が分かりづらい	利用開始時には災害、事故の対応については説明を行っているが、設備の案内や日々の安全管理についてはわかりにくい面もある。	・避難訓練実施時等はお便りなどで様子を伝えるようにする。
3	ペアレントトレーニングなど保護者への支援が少ない	ペアレントトレーニングなど行う機会がない。 職員の技術と人員増員が必要となる。	・ペアレントトレーニングが出来る人材の確保。 ・研修等行なっていく。

公表 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	スマイルひろば匠臥竜店				公表日	2026/3/29				
					利用児童数	29		回収数	22	
	チェック項目	はい	いいえ	わからない	どちらとも いえない	ご意見	ご意見を踏まえた対応			
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	17	0	1	4	・利用人数が多い日には、室内の活動スペースが若干狭いように感じますが、施設外での活動も設けていただけるので特に心配はありません。	・放課後デイの基準のスペースは確保されています。今後も課外での活動なども取り入れながら進めていきます。		
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	20	0	1	1	・利用者の割に先生方が少ないような気がします。建物の構造上仕方ないと思いますが、室内でクルーダウンしたとき、お友達と離れたときなど、別空間があるといいのかなあとは思っています。	・基準の人員配置以外にも支援員を配置しています。 学習室も利用できます。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	0	1	3		1日の活動内容などホワイトボードで確認できるようにしています。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	21	0	0	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	0	1	1	・環境によって行動の違いが大きく、外出時の安全確保が課題です。事業所で安全に試せる機会が増えるとありがたいです。 ・週ごとなどや、長期休みにはたくさんイベントや計画をしてくださっていて、普段できないことができて、助かります。運動メニューも増えて、いいと思います。出かけたくない時に、室内で過ごさせてもらえることもありがたい。	・安全に過ごしたり、様々な活動に意欲を持って参加できるように今後も支援していきます。		
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	18	0	4	0				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	20	0	2	0				
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	19	0	3	0				
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20	0	2	0				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	18	0	3	1		季節や、その日の利用児童に合わせた活動内容を考えています。		
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	20	0	1	1				
	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	19	0	3	0				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	0	1	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	20	0	1	1	ペアレント・トレーニングを受けてみたいですよ。	今後の検討課題とさせていただきます。		
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	21	0	1	0				

保護者への説明等	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	20	0	1	1	帰宅後しばらく大声を出したり興奮が続いたりして、家庭で対応が難しいときがあります。1日の最後の時間帯で気持ちの整理がしやすい活動や声かけの工夫など、何かアイデアがあれば教えていただくと助かります。	
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	0	3	0		
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	20	0	1	1		2月に親子交流会を実施しました。簡単な運動・ミニゲームやおやつ作りなど行いました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	21	0	0	1		
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	21	0	1	0		
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	21	0	1	0	お便りや個別の動画、インスタグラムで、日々の様子がわかり、とてもありがたいです。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	20	0	2	0		
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、初犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	16	0	5	1		
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	16	0	5	1		全員が参加出来る様に年2回の防災訓練を行っています。春休みには毎年消防署への見学も行っていきます。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	15	0	7	0		契約時に安全計画等の話をさせていただいています。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	19	1	0	2		事故やケガがあった場合は必ず保護者の方にお知らせするようにしています。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	22	0	0	0		
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	22	0	0	0	先生方が本人の性格を理解して接して下さるので、活動時に笑顔が見られたり、帰りに「楽しかった」と話す様子が見られるようになりました。本人の出来ることを伸ばす先生方の関わり方に、私自身も新たな子供との関わり方が見つけられたりと、勉強させて頂いている気持ちです。	ありがとうございます。一人一人に寄り添いながら出来ることが増えていくように支援していきます。
	29	事業所の支援に満足していますか。	21	0	1	0		

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		スマイルひろば匠臥竜店				公表日	2026/3/29
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・利用者の定員に合わせた活動スペースを確保できている。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・利用者の定員に合わせた職員配置を確保できている。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・活動内容に合わせて環境の構造化に努めている。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・整理整頓を心がけ、清潔な環境で過ごせるように工夫している。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6	0	・各職員からの意見を取り入れ、反映させようとする取り組みが行われている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0			
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・アセスメントについて、インフォーマルなアセスメント（日常の行動観察）に傾きがちな点がある。支援のエビデンスとなるフォーマルなアセスメント（WISC-IV、V等）を今後どう取り入れていくかが課題。専門機関の検査結果を保護者より提供していただくことも一つの方法だと考えている。		

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0		
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0		
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0		
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0		
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	6	0		
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0		
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0		
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0		
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	6	0		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	6	0		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	0		
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	保護者への説明や丁寧な情報提供が行われている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0		
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0		
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	6	0		
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0		
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	6	0		
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0		
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0		
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0		
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	1	定期的な訓練を通じて、緊急時の対応を職員間で共有できている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	定期的な訓練を通じて、緊急時の対応を職員間で共有できている。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	6	0		
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0		
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0		
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0		
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0		
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0		

54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0		
----	--	---	---	--	--